

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		子ども会育成連絡協議会助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木敏明							
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名	衛藤 剛							
	基本事業	59	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	2432							
予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	1	事業連番	10816	法令根拠	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	成果優先度評価結果	12	コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)										

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	子ども会育成連絡協議会への補助金の交付 市内の子ども会連合の支援を目的に始まったが、始まった年代は特定できない。 子どもを対象にした悲しい事件事故が相次いで発生し、子どもを取り巻く社会的環境はますます厳しさを増している。 また、地域によっては子どもの減少により、地域を統合しないと子ども会活動が出来ない場合もある。
【業務の流れ】	育成連絡協議会長からの補助金交付申請書を受理する。申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して、育成連絡協議会長からの請求書を受け、補助金を交付する。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	少子化や加入率の低下、役員の成り手不足など単位子ども会の運営に支障が出ているとの声がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 合志市子ども会育成連絡協議会(単位子ども会63団体)に対して、844,000円の助成金を交付。	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志市子ども会育成連絡協議会(単位子ども会61団体)に対して、844,000円の助成金を交付。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ ア 助成金の額	(単位) 円 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市子ども会育成連絡協議会会員	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ⇒ ア 子ども会育成連絡協議会の会員数 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合志市子ども会育成連絡協議会の活動を活発に行ってもらう。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ⇒ ア 子ども会の行事数 回 ⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 子ども会にて行事を活発に行ってもらうため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	円	938	844	844	844	844	844	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	3414	3244	3400	3440	3400	3400	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	回	4	4	4	4	4	4	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	938	844	844	84	844	844
	(A) 事業費計	千円	938	844	844	84	844	844	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	6	3	2	3	2	2	
	延べ業務時間	時間	390	45	10	35	10	10	
	(B)人件費計	千円	1,548	180	40	139	40	40	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,486	1,024	884	223	884	884	0

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	子ども会育成連絡協議会助成事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

助成金の支払い事務は滞りなく実施され、合志市子ども会育成連絡協議会の事業も計画どおり実施され、当初の目的は達成された。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

団体の自立を促したいが、少子化の進行や加入率の低下により、地域の子ども会運営が厳しさを増し、活動できなくなる単位子ども会も出ている。その原因として役員への負担や子ども会への興味関心が低いことが考えられる。子どもたちにとっても親にとっても魅力的でやりがいのある事業を行っていくことや、団体の効率的な運営が必要だと思われる。